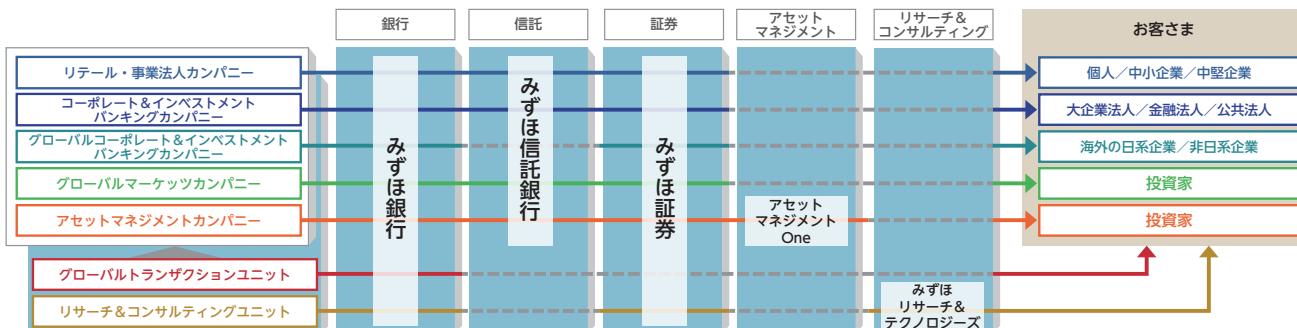


カンパニーの状況

グループ体制



Retail & Business Banking Company リテール・事業法人力合併会社

事業概要

個人・中小企業・中堅企業のお客さまを担当

2025年度中間期の実績

人生100年時代、SX・DX、資産・事業承継等の内外環境を踏まえ、個人のお客さまの豊かさの増進や法人のお客さまの成長戦略・事業構造改革の支援に取り組んでいます。

2025年度中間期は、個人のお客さまに対し、資金特性に応じたアプローチを引き続き推し進めたことで預かり資産が拡大したほか、法人のお客さまに対し、持続的成長に向けた課題解決支援を通じて高採算貸出を中心に収益が拡大しました。加えて、金利上昇による預金収支改善もあり、業務粗利益は増加しました。また、人材投資や顧客利便性向上のための投資等を引き続き積極的に行いつつ、生産性向上等の経費コントロールに努めた結果、業務純益は前年同期比470億円増加 (+116%) しました。

Corporate & Investment Banking Company

コーポレート＆インベストメントバンキングカンパニー

事業概要

国内の大企業法人・金融法人・公共法人のお客さまを担当

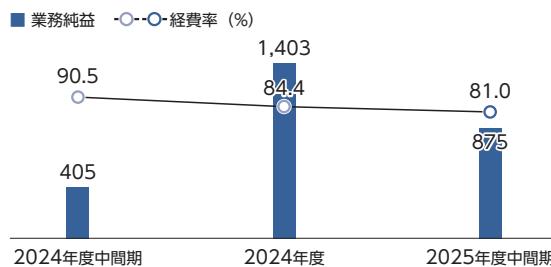
2025年度中間期の実績

お客様を取り巻く環境が変化する中、多様化・高度化するお客様のニーズに的確に対応するため、グループ横断での取り組みを一層強化することで、日本企業の競争力強化を徹底的に支援し、日本産業・経済の発展に貢献しています。

2025年度中間期は、強みである投資銀行ビジネスや大口シンジケーション案件が業績を牽引し、業務粗利益が前年同期比363億円増加 (+12%) しました。また、経費のコントロールに努めた結果、業務純益は前年同期比343億円増加 (+18%) しました。

業績推移（億円）

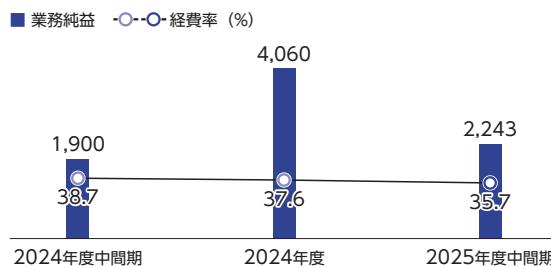
(グループ合算、管理会計、概数)



※年度の計数を、2025年度管理会計ルールに組み替えて算出

業績推移（億円）

(グループ合算、管理会計、概数)



※年度の計数を、2025年度管理会計ルールに組み替えて算出

グローバルコーポレート＆インベストメントバンキングカンパニー

事業概要

海外に進出する日系および非日系企業等のお客さまを担当

2025年度中間期の実績

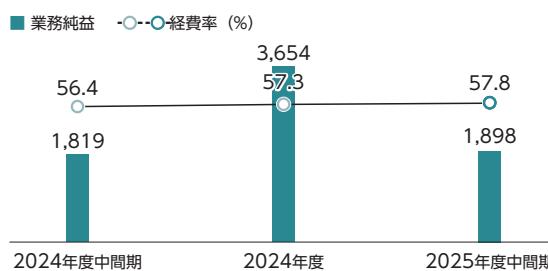
米国資本市場における高いプレゼンスや、アジア経済圏における充実したネットワーク等をいかし、各地域のお客さまに総合的な金融ソリューションを提供しています。

2025年度中間期は、米国の通商政策に係る不透明感が市場の逆風となる中でも、これまで培ってきたCIBビジネスモデルの強みをいかし、資本市場を中心に収益が拡大しました。インフレ影響や内部管理体制の強化に伴い経費率は前年同期比で上昇したものの、業務純益は前年同期比79億円増加(+4%)しました。

2023年度に買収したM&Aアドバイザリー会社Greenhillとの融合は着実に進捗しており、大型案件や地域間で連携したクロスボーダー案件の獲得につながっています。

業績推移（億円）

(グループ合算、管理会計、概数)



*年度の計数を、2025年度管理会計ルールに組み替えて算出

Global Markets Company

グローバルマーケットカンパニー

事業概要

市場商品を提供するセールス＆トレーディング（S&T）業務、ALM・投資を行うバンキング業務を担当

2025年度中間期の実績

セールス＆トレーディング業務においては、各地域での銀行・証券実質一体運営の深化に注力しています。バンキング業務においては、国内外の金融政策の変化等に留意しながら、安定的な収益実現に努めています。

2025年度中間期は、セールス＆トレーディング業務では、顧客フローを的確に捕捉し、米州・国内を中心には好調に推移しました。バンキング業務は、米関税政策等を背景に不安定な相場局面がみられた中でも、相場動向を捉えた機動的なオペレーションにより、実現益を積み上げました。カンパニーの業務純益は前年同期比では310億円減少(△13%)したものの、2,000億円を超える高い水準を維持しました。

業績推移（億円）

(グループ合算、管理会計、概数)



*年度の計数を、2025年度管理会計ルールに組み替えて算出（業務純益にはETF関連損益等を含む）

Asset Management Company

アセットマネジメントカンパニー

事業概要

個人から機関投資家まで幅広いお客様の資産運用ニーズに運用商品・ソリューションを提供

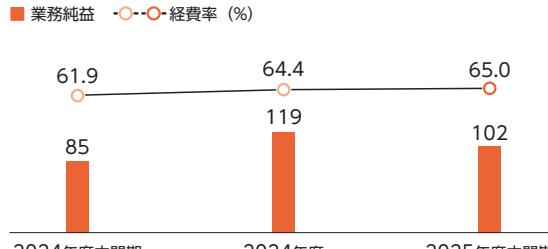
2025年度中間期の実績

個人のお客さまの中長期的な資産形成ニーズや、機関投資家のお客様の運用多様化ニーズに応えるため、インハウス運用力強化や外部パートナーとの協業により、付加価値の高いプロダクト・ソリューションの拡充に取り組んでいます。

2025年度中間期は、マーケット環境を捉えた商品提供によるAUM積み上げや、海外カストディ業務の移管影響により、業務純益は前年同期比で17億円増加(+20%)しました。また、外部パートナーとの協業による、〈みずほ〉初のプライベートアセットの公募投信組成や包括的資産運用（OCIO）サービス提供開始等、商品提供力強化に関する取り組みを進捗させました。

業績推移（億円）

(グループ合算、管理会計、概数)



*年度の計数を、2025年度管理会計ルールに組み替えて算出